

令和6年度 第3回 中城御殿跡地整備検討委員会

いいぬ うどうん
上之御殿エリアの整備について

1. 西側および北側擁壁の積み方について
2. 西側広場の転落防止柵について
3. 東側擁壁について

1. 西側・北側擁壁の積み方について

(指摘事項)

- 西側擁壁について、往時の積み方の特徴である扇形を取り入れた検討が必要である。
- 北側擁壁について、北側階段周りは往時と完全に景観が異なるため、現代のものと分かるように整備する必要がある。

参考例) 往時の石積み



(結論)

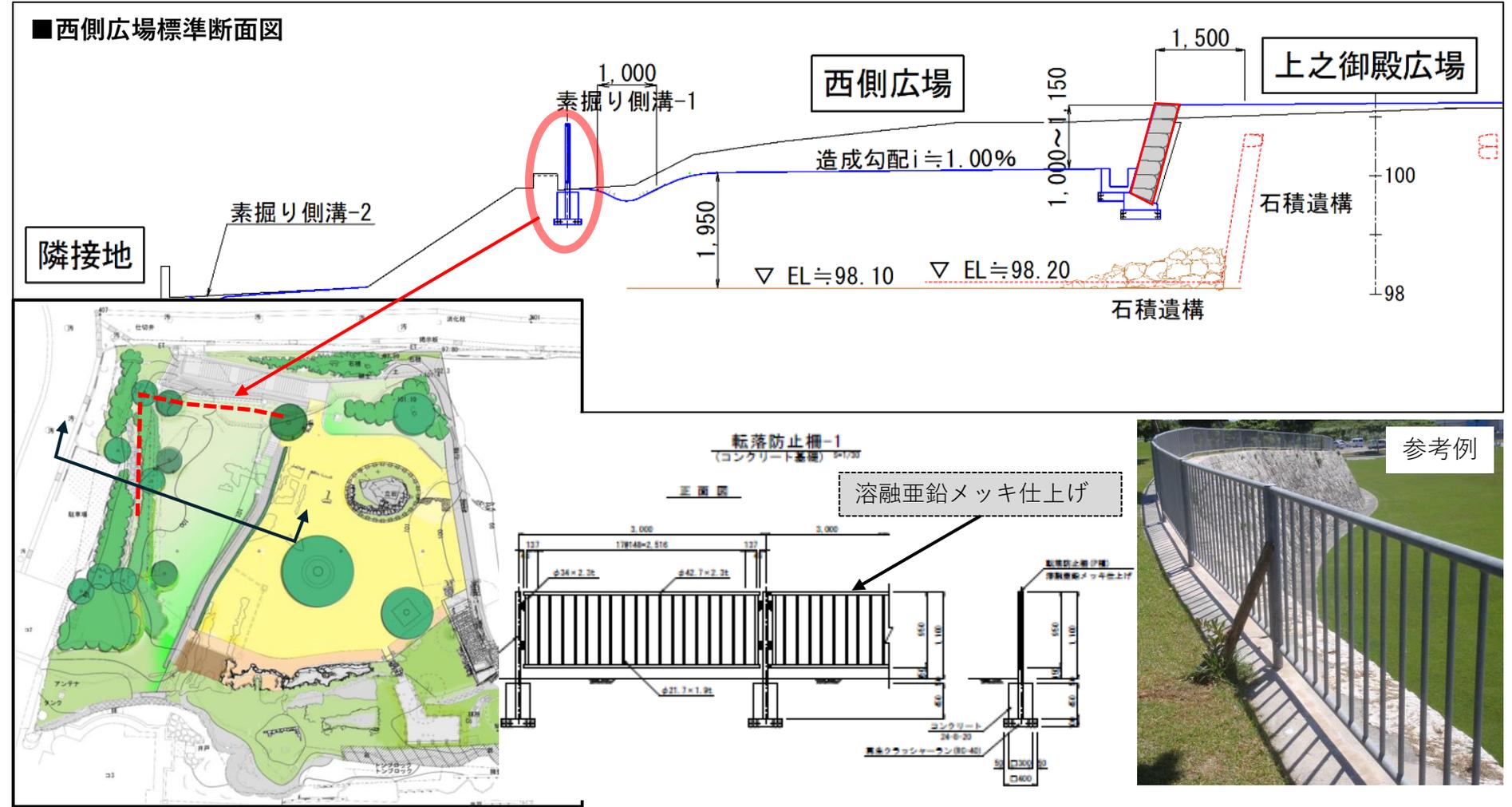
- 西側擁壁
 - 往時の積み方 (多角形で丸みのある扇形) を参考とし、また要所に細長い形状を配置する。
- 北側擁壁
 - 現代積み と分かる積み方で施工する。

施工案



2. 西側広場の転落防止柵について

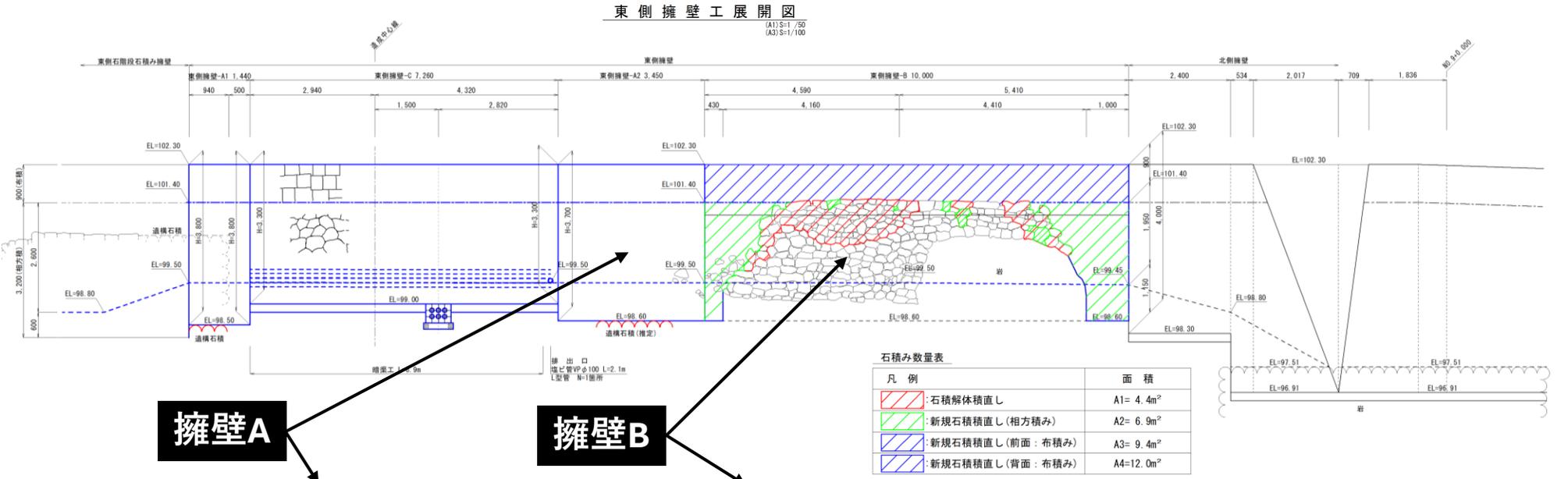
(指摘事項)
 ○西側広場の転落防止柵について、柵の形状が意匠的に重要である。



(現計画)
 ○過去委員会にて、門扉を「溶融亜鉛メッキ仕上げ」としたことから転落防止柵も同仕上げとする

3. 東側擁壁について

(指摘事項)
 ○東側擁壁について、遺構の状態が良いため遺構を活かす（見せる）検討をお願いしたい。



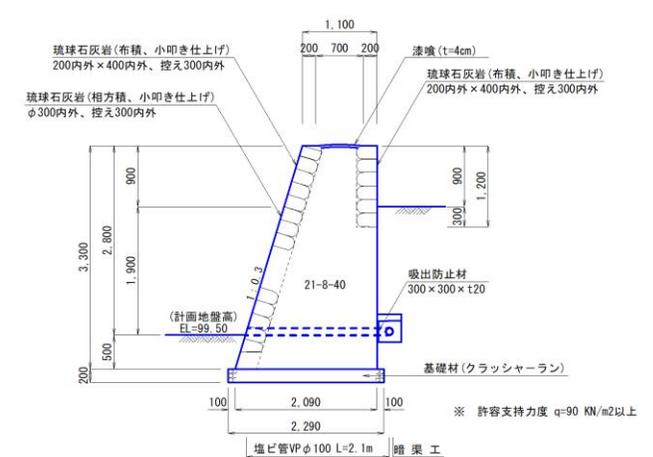
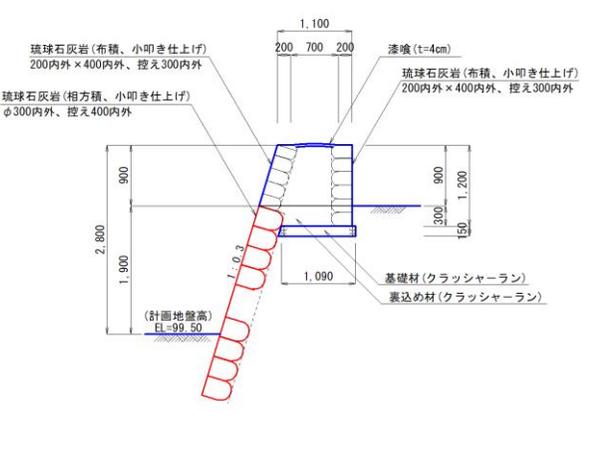
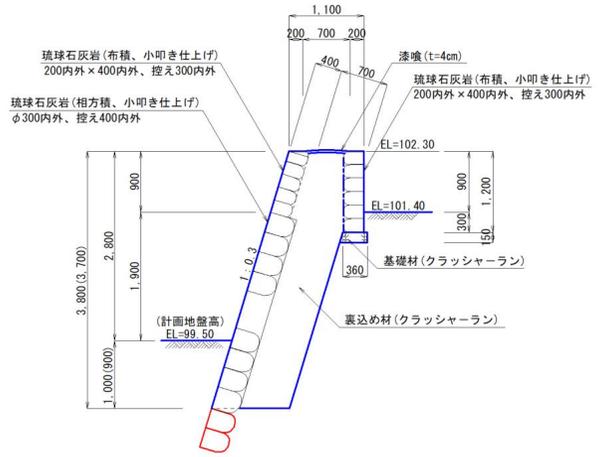
擁壁A

擁壁B

東側擁壁-A
(別途工事)

東側擁壁-B

東側擁壁-C

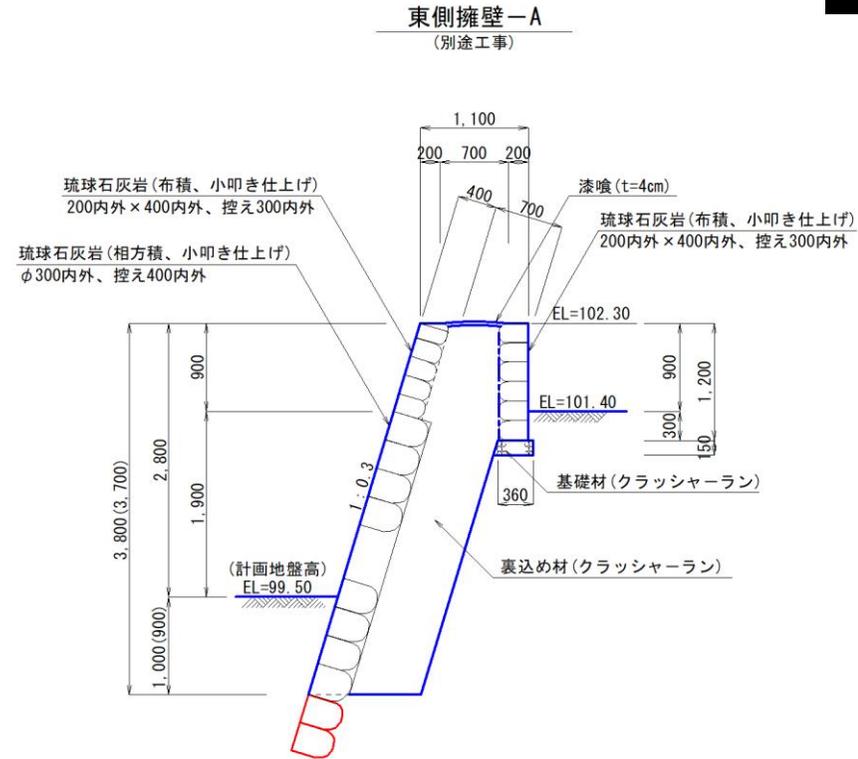
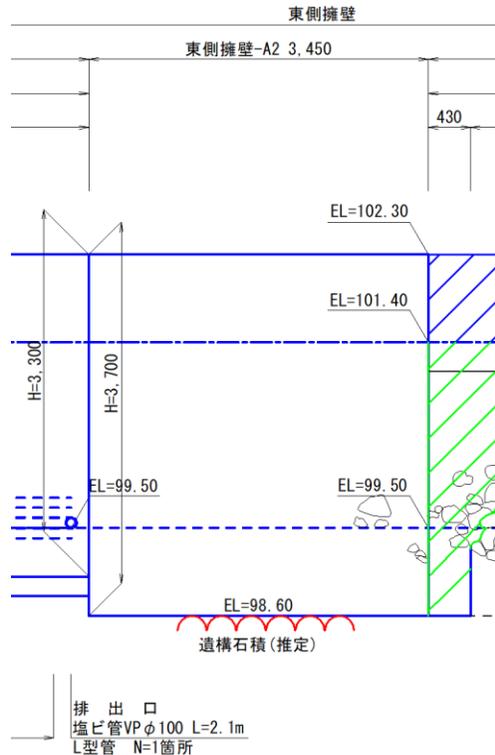


3. 東側擁壁について

(指摘事項)

○東側擁壁について、遺構の状態が良いため遺構を活かす（見せる）検討をお願いしたい。

擁壁A

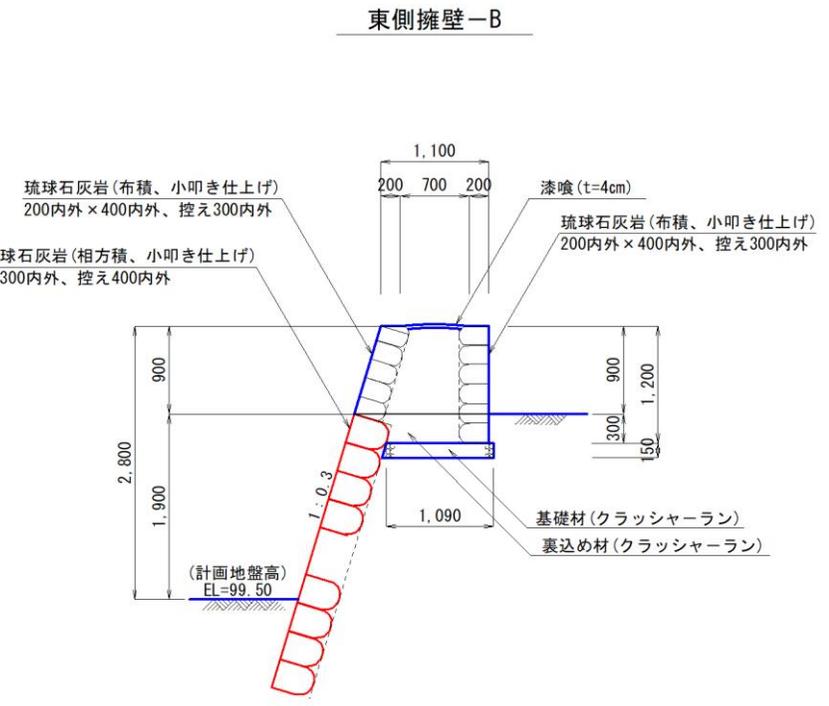
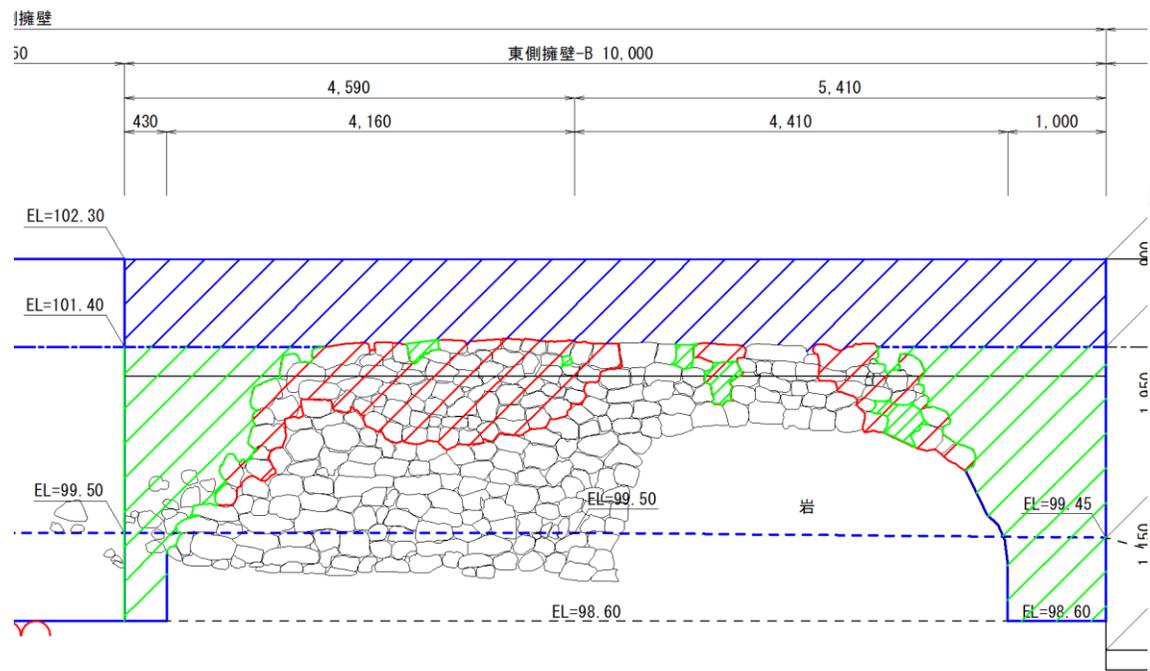


(現計画)

○遺構を活かした擁壁とする。(中城御殿スロープからの見え方も検討する。)

3. 東側擁壁について

(指摘事項)
 ○東側擁壁について、遺構の状態が良いため遺構を活かす（見せる）検討をお願いしたい。



石積み数量表

凡 例	面 積
: 石積解体積直し	A1= 4.4m ²
: 新規石積積直し(相方積み)	A2= 6.9m ²
: 新規石積積直し(前面：布積み)	A3= 9.4m ²
: 新規石積積直し(背面：布積み)	A4=12.0m ²

擁壁B

(現計画)
 ○遺構を活かした擁壁とする。(中城御殿スロープからの見え方も検討する。)